

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)			訪問国	ニュージーランド
学校名	静岡県立静岡高等学校	氏名	増田 匠飛	学年	2年

僕は仮面ライダーが好きだ。

どれほど好きかと言われれば、変身ベルト集めに飽き足らず、その名言に心を震わされ、高校の探究活動で「仮面ライダーと人々の成長への影響とは」と題して仮面ライダーの職業と名言に注目してその影響力の大きさを調べたほどである。

そんな僕の留学テーマは「多民族国家、ニュージーランドで学ぶ世界の理想のヒーロー像とは」で、探究活動の問いは、「仮面ライダーや静岡のご当地ヒーローを国際的なヒーローにするための条件とは何か。」である。

僕は仮面ライダーと同じくらい、地元静岡の魅力が世界に広がったらいいのにと思っていた。そんな時に。静岡新聞で静岡のご当地ヒーローの茶神888さんのことを知り、静岡の文化発信にご当地ヒーローが一役買っていることを知った。そこでそんなご当地ヒーローをもっとくさんの人に知ってもらい、静岡のことも知ってもらいたいと思い、ニュージーランドへの留学を決意した。

ニュージーランドに留学しようと思ったのは、ニュージーランドは多民族国家で世界の縮図であり、日本と同じ島国でありながらもニュージーランドといえばラグビーと誰もがこたえられるくらい文化発信に長けた国であるからだ。

そして、ニュージーランドで僕は①出身国、②ヒーローは好きか、③お気に入りのヒーロー、④ヒーローを魅力的にしているものとは、⑤ヒーローに適した色の5つを60人にインタビューをした。およそ8割の人がヒーローを好んでいて、ヒーローの能力、人を守ること、そしてアクションがヒーローの魅力であり、そして他を圧倒して赤、黒、青の順でヒーローのイメージがあることを発見した。



また,” LORD OF THE RINGS “の制作会社である WETA のワークショップと、そのロケ地である HOBBITON を訪れた。映画で使用されたセットや、映画の世界観に合わせてつくられたロケ地の世界観の深さを体感した。

このことから、理想のヒーロー像には、ヒーローの能力や人々を守る姿勢という表層のものだけでなく、それらを際立たせるバックグラウンドストーリーや、名言やハートなどのストーリー性が重要であると分かった。

ただ、僕が思うご当地ヒーローの魅力とは地域に根付いていて、その地域に行けば実際に会えるということなのだ。理想を追求しすぎた結果、CG などに頼りすぎてしまい、実際に会ってみたらちょっとがっかりしてしま

うようではいけない。だからこそ、お祭りやイベント、地元の TV 番組などに出演し、露出度を挙げ、ヒーローとしての真価をステージ上で発揮するような、戦えるゆるキャラを目指すべきなのではないかと考えた。

これが僕のニュージーランドでの探究活動での成果だ。正直に申し上げると、60 人へのインタビューは骨だけでなく心も折れてしまいそうな出来事であった。知らない土地で知らない人になれない言語で話しかけるのだ。断られてしまってもその場で慰めてくれる人はいなかった。それでも最後までやり遂げられたのは人々の温かさに触れたからである。



渡航前には先生方や家族、友達がたくさん応援してくれた。留学中もニュージーランドの人々にたくさん励まされた。それに同じ時にどこかで頑張っているトビタテ生、そしてふじのくにグローバル人材育成事業 1 期生の仲間がいた。なにより、援助してくださった企業様や県の皆様に土産なしでは面目が立たなかった。そして結果的に目標を達成することができてとてもうれしかった。

他にもうれしかったのは、人として大きく成長することができたからである。ニュージーランドへの留学は、確実に仮面ライダーと同等かそれ以上の影響を僕に与えた。

たくさんの友達との出会いもそうである。ルームメイトの Luca はニュージーランドでの初めての友達で、たくさん笑いあった Bro であるし、同じ語学学校だった友達や、HOBBITON へのツアーでの友達もいる。彼らのおかげで最初の 1 週間は早く帰りたいと思っていたニュージーランド留学から帰りたくないと思えたとし、より活発に様々なことに挑戦してみようと思えた。

自分の行動の責任を持つのは自分一人だけか、日本人全員だという境遇も成長できる要因だったと思う。もし寝坊してバスを逃して語学学校に遅れたり、計画が不十分で探究活動に手が回らなくなったりしたらもう責任を取るのは自分しかない。また、世界にトビタツと、僕は日本人という大きなくりに入る。そんな僕がバスの運転手や店員さんに挨拶をしなかったら日本人ってそうなんだと失望させてしまう。サッカーワールドカップでごみ拾いする人々の日本人というイメージをたった一人で壊しかねない。このような重圧の中での生活は自分を律するきっかけになった。どうしても甘えが出てしまう自分が、留学を通して少しは自己をコントロールすることができてきたように感じる。



このように、ニュージーランドでの留学は今でも忘れられないものとなっている。今後、僕は静岡のご当地ヒーローを通じて静岡を発展させ、そして日本のヒーローが世界にトビタツために成長し続けることを誓う。